

研究課題名 骨盤側方深部郭清の精度を高める経肛門的アプローチの手術手技に関する検討

1. 研究の対象

当科で 2017 年 5 月より経肛門アプローチによる側方郭清を施行した症例。

2. 研究目的・方法・研究期間

側方リンパ節腫大を伴う下部直腸癌に対する治療戦略は世界中で hot な話題です。欧米ではこれまで化学放射線療法で対処可能としてきましたが、側方腫大例での高率な側方再発が問題となっています。本邦では自律神経温存側方郭清を標準治療としているものの、その技術的難易度は高く、高い精度で普及しているとは言い難い現状です。特に転移頻度が高率な Alcock 管周囲はアクセスと視界の悪さから郭清を行っても不十分な郭清のリスクが潜んでいます。当科ではこの最深部領域の必要十分な郭清を目指し、経肛門的側方リンパ節郭清に取り組んできました。経肛門アプローチでは側方最深部領域を目の前に視認することができ、また内腸骨血管本幹に対して平行な鉗子操作が可能となります。さらに、2 チームアプローチによる手術時間の短縮や、術前治療後に腫大リンパ節を含めた側方最深部の部分郭清も可能となります。当科で施行した経肛門アプローチによる側方郭清手術手技とその治療成績を検討することを目的としました。方法は、本術式を施行した患者さんの病歴や手術手技データ、術後経過などを後ろ向きに分析することです。

研究期間は当院の生命倫理委員会の実施承認日から 2022 年 12 月 31 日とする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、実施された手術術式の詳細、副作用等の発生状況、カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学 上原 圭

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話番号：052-744-2222